

大学年報 編集後記

2013（平成25）年度の淑徳大学年報が、みなさまのご協力を得てこのほど発行に至りました。執筆や編集、取りまとめにとご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。おかげさまで、本年報から9月末の発行が実現いたしました。

大学年報を早期に発行する目的は、前年度の自己点検・評価結果を今年度の活動の中で活かしていくためであり、継続的な事業運営を行っていくためです。

PDCAサイクルを用いた自己点検・評価の仕組みは、2012（平成24）年度から各学部や各キャンパスの実情を踏まえつつ全学的に導入されましたが、その取り組みの進捗状況は学部によって異なります。本年報が活用されるなかで、それぞれの学部や委員会等が相互に、どのような目標を立て、どのように取り組んでいるのかなどを参考にし合い、教育・研究の質向上に役立てていくことを期待しています。

また、年報を活用していくためには、どのようなデータを掲載したらよいか、見やすいレイアウトかどうかなど、検討課題が多く残っています。教職員の皆様、ならびに公開情報として年報をご覧いただいた皆様から忌憚りの無いご意見をいただき、本学の自己点検・評価のいっそうの推進につながるように活用してまいりたいと思います。

大学年報編集委員長 山口 光治